

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月28日

福島県知事

内堀 雅雄 殿



提出者

住所 福島県郡山市虎丸町21-10
EME郡山ビル1階

氏名 住友不動産株式会社
エリア統括 結城 寿宏

電話番号 024-991-4155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建北日本事業所 福島エリア
事業場の所在地	福島県郡山市虎丸町21-10 EME郡山ビル1階
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 ¥ 21億33百万円 (2022年度)
③ 従業員数	34名 (2023年5月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	住宅リフォーム工事 旧建築物解体: がれき類 → 産廃業者に委託し、処分 木くず → 産廃業者に委託し、処分 建設業: 木くず → 産廃業者に委託し、処分 廃プラスチック → 産廃業者に委託し、処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者) ↓ 工事検査係 ┌ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) └ 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排 出 量	823.115 t	15.466 t
	(これまでに実施した取組) 現場での解体方法の工夫 (種類別に順次解体) 処理委託業者との連携 (分別を行い、再利用化に努める)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排 出 量	700.000 t	10.000 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材等の簡素化による廃棄物の削減 現場加工を減らし、既製品を使用する 既存間取り利用による廃棄物の削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード ガラスくずはそれぞれに分別し保管		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者) 工事検査係 ┌ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) └ 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	排 出 量	8.677 t	25.889 t
	(これまで実施した取組) 震災対応のため外壁工事の増加により排出量の増加となりました 現場での解体方法の工夫 (種類別に順次解体) 処理委託業者との連携 (分別を行い、再利用化に努める)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	排 出 量	6.000 t	20.000 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材等の簡素化による廃棄物の削減 現場加工を減らし、既製品を使用する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード 金属くずはそれぞれに分別し保管		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者) ↓ 工事検査係 ┌── 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) └── 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	安定型混合廃棄物
	排 出 量	416.298 t	7.462 t
	(これまでに実施した取組) 震災対応のため外壁工事の増加により排出量の増加となりました 現場での解体方法の工夫 (種類別に順次解体) 処理委託業者との連携 (分別を行い、再利用化に努める)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	安定型混合廃棄物
	排 出 量	400.000 t	5.000 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材等の簡素化による廃棄物の削減 現場加工を減らし、既製品を使用する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード 金属くずはそれぞれに分別し保管		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者) 工事検査係 ┌ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) └ 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	排 出 量	278.299 t	170.052 t
	(これまでに実施した取組) 震災対応のため外壁工書の増加により排出量の増加となりました 石綿含有試験を実施し、該当物件増加のため、排出量が増加となりました 現場での解体方法の工夫 (種類別に順次解体) 処理委託業者との連携 (分別を行い、再利用化に努める)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	排 出 量	250.000 t	150.000 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材等の簡素化による廃棄物の削減 現場加工を減らし、既製品を使用する 石綿含有試験を実施し、みなし廃棄の減少に努める		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード ガラスくずはそれぞれに分別し保管		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者)			
工事検査係			
├ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)			
└ 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	石膏ボード
	排出量	56.598 t	102.830 t
	(これまでに実施した取組) 震災対応のため受注増加を受け、排出量の増加となりました 現場での解体方法の工夫 (種類別に順次解体) 処理委託業者との連携 (分別を行い、再利用化に努める)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	石膏ボード
	排出量	40.000 t	80.000 t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材等の簡素化による廃棄物の削減 現場加工を減らし、既製品を使用する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード ガラスくずはそれぞれに分別し保管		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
エリア統括 (産業廃棄物処理統括責任者) 工事検査係 ┌ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) └ 産業廃棄物処理施設技術管理者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリート	
	排出量	139.620 t	— t
	(これまでに実施した取組) 震災対応のため外壁工事の受注増加を受け、排出量の増加となりました 内窓の促進を行い、廃棄を減少に努める		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリート	
	排出量	100.000 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・がれき類・紙くず・繊維くず・廃プラスチック類・石膏ボード ガラスくずはそれぞれに分別し保管		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物：保管場所を確保し分別処分を行えるように努める 各業者にも分別処分を意識付けする		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	全処理委託量	823.115 t	15.466 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	15.466 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	823.115 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	全処理委託量	8.677 t	25.899 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	25.899 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.3385 t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	416.298 t	7.462 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	16.652 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	278.299 t	170.052 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	石膏ボード
	全処理委託量	56.598 t	102.830 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	22.639 t	102.830 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリート	—
	全処理委託量	139.620 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	全処理委託量	700.000 t	10.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	10.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	700.000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	全処理委託量	6.000 t	20.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	20.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	2.000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	400.000 t	5.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	164.000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	250.000 t	150.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	石膏ボード
	全処理委託量	40.000 t	80.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	18.000 t	80.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリート	
	全処理委託量	100.000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への定期的な実施確認		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。